

創る、巡る、贈る



福島県大熊町

2026

広報おおくま

1

No.642



－ 今月の表紙 －

認定こども園学び舎ゆめの森
幼年消防クラブ防火パレード
(掲載記事6ページ)

特集 / 新年のごあいさつ / ふくしま駅伝

まちの話題6ページ | お知らせ14ページ | すこやかライフ26ページ

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、健康やかに新年をお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

本年は、東日本大震災・福島第一原発事故から15年という大きな節目にあたり、同時に国の東日本大震災からの復興政策である第3期復興・創生期間の始まりでもあります。

15年という長い時間が経過する中ではありますが、解決すべき課題は山積しております。町面積の約半分は立ち入り制限が継続中であることから、帰還困難区域および特定帰還居住区域における避難指示解除に向け、着実に取り組みを進めています。

本年中には、復興再生計画の変更を通じて区域の追加指定や整備内容の見直しを行い、帰還を希望される皆さまの声にこたえてまいります。

また、中間貯蔵施設に保管される除染土の最終処分期限である2045年までの残された約20年を考えると、時間的猶予は多くありません。

廃止後の土地利用方針が未定である今、町民・県民の皆さまの不安を払拭するためにも、政府に対し、迅速な方針・工程の提示をこれまで以上に強く求めていく所存であります。

こうした課題に向き合いながらも、昨年は復興の確かな前進を感じる一年でもありました。

昨年3月には、町の新たなシンボルであるCREVAおおくま・クマSU

Nテラスが大野駅西交流エリアにグラウンドオープンし、大川原地区復興拠点に続くにぎわいの形成へ大きく寄与いたしました。

さらに、9月の敬老会の盛大な開催、11月のふるさとまつりでは震災前に町の特産品であったキウイフルーツを使っているギネス世界記録樹立など、人が集い、声が響く光景に、かつての駅前商店街を思い起こすような活気を実感しております。

産業分野におきましても、大川原西工業団地および大熊中央産業拠点での企業進出や工場整備が着実に進み、産業振興と雇用創出が大きく前進いたしました。

加えて、町民の皆さまから長年要望のあったスーパーマーケットの整備が進み、原地区においてマルトが今年10月にオープンいたします。暮らしを支える基盤が整うことは、復興にとって大きな力となります。

町の教育機能が帰還した令和5年4月に、認定こども園、義務教育学校合わせて26人だった学び舎ゆめの森は、2年半ほどで約100人となる園児児童生徒が在籍するまでに至りました。学び舎ゆめの森での特色ある学びが、当町を知る一つのきっかけであると考えております。子どもたちが学業に励む姿や、地域行事に積極的に参加する姿は、町にとっての大きな希望の象徴であり「普通の暮らし」が戻りつつあることを感じております。

「普通の暮らし」を取り戻すために、

町内への帰還後も当町は本当に多くのご支援に支えられてきました。

とりわけ大学や高専など教育機関との協定や学生の皆さんからの力強いご協力は、復興を前進させる大きな原動力となっております。

町民の放射線への不安を解消するための勉強会、ふるさとまつりなどの各種行事への参加や学び舎ゆめの森との交流など、こうした関わりの一つ一つが町に活気を与え、復興に確かな歩みをもたらしております。

復興は、行政だけでなく、町民の皆さまとともに歩むことで実現するものです。

町長として就任した折に「戻りたい方」「戻らない方」「新たに町民となる方」のすべてに、「戻ってよかった」「つながりをもち続けてよかった」「移り住んでよかった」と実感していただける町づくりを進めるとお約束いたしました。町民の皆さまが「この町の一員でよかった」と心から思えるよう、初心を忘れることなく、未来を切り拓くまちづくりに全力で取り組んでまいります。

結びに、町民の皆さまにとりまして、本年が希望に満ち、心豊かに過ごせる一年となりますよう、心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新年のごあいさつ

大熊町長 吉田 淳



令和8年の年頭にあたり、議会を代表いたしまして謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆さまにおかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より議会の活動に対し、深いご理解と温かなご支援を賜っておりますことに厚く御礼を申し上げます。

さて、東日本大震災および原子力災害による全町避難から間もなく15年、帰町を果たしてから間もなく7年を迎えようとしており、復興に向けた歩みを一歩ずつ着実に進めているところであります。

大川原地区に開校した学び舎ゆめの森では、園児・児童・生徒数が年々増加を続けております。毎年、全国各地の市区町村議会から行政視察の申し込みをいただいておりますが、その大部分がゆめの森の視察を希望されております。特色ある学びを大切にしているゆめの森の教育方針に対する注目度の高さが窺い知れます。

昨年10月には、学び舎ゆめの森7・9年生の生徒12人が参加し、震災後初めてとなる子ども議会を開催いたしました。子ども議会では生徒達が子ども議員となり、町政に対する一般質問を行いました。子どもの目線から町政の課題を的確に捉え、町長に対して堂々と質問する姿に頼もしさを感じました。

子ども議会の開催にご協力いただいた学校関係者の皆さまおよび保護者の皆さまに対し、衷心より御礼を申し上げます。次第であります。

地域における一番の資源は人材です。次世代を担う子ども達が安心して成長できる環境づくりは、町の将来を左右する重要課題であると言っても過言ではありません。子どもたちが何の心配もなく安心して学び、健やかに成長できる環境を整えるため、今後も行政と連携して取り組んでまいります。

JR大野駅西交流エリアにおきましては、昨年3月に産業交流施設「CREVAおおくま」および商業施設「クマSUNテラス」がグランドオープンいたしました。オープン以来、町内外から多くの方が訪れ、交流の場としてにぎわっております。また、震災後休止している県立大野病院につきまして、後継の中核病院を県立医科大学の付属病院として令和11年度以降に開院する方針が示されております。町民の皆さまが安心して生活できるよう、1日でも早い開院の実現を議会としても積極的に働きかけてまいります。

原地区におきましては、スーパーマーケット「マルト」が予定よりも早い今年10月に出店することが決定いたしました。多くの町民が待ち望んでいた出店であり、生活の利便性向上が図られることは大変喜ばしい限りです。

町内に残されている帰還困難区域におきましても、「特定帰還居住区域復興再生計画」に基づく除染やインフラ等の環境整備が着実に実施されることが重要であることは言うまでもありません。私たち議会議員一同、ふるさとの全域を取り戻すという変わらぬ決意の下、町内全域の除染および避難指示解除の早期実現に向けた取り組みの実施を、国に対して引き続き強く要望してまいります。

まだまだ町の復興に向けた課題は山積しておりますが、議会といたしましても、町民の皆さまが大熊町の将来に希望を抱き、誇りを感じていただける町づくりに執行部と一丸となって全力で取り組んでまいりる所存でありますので、引き続き議会活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆さまが幸せに満ち溢れた新年を迎えられることを願いますとともに、皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

あけまして
おめでとうございます

大熊町議会議員 仲野 剛



大熊町駅伝チーム 96.3 km完走

～第37回ふくしま駅伝～

第

37回市町村対抗県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)が、11月16日に開かれまし

た。白河市のしらかわカナルスポーツパーク陸上競技場から福島県庁前までの16区間(96.3km)を、57市町村の51チームの選手らがふるさとの誇りを胸に駆け抜けました。

第1回から単独チームとして参加している大熊町チームは、今年で連続37回目の出場です。

前日の結団式で渡辺誠一監督は「今年も単独出場できることをうれしく思います。各個人ベストを出して走り切りましょう。目標は総合順位40位以上、タイムは2023年の6時間1分45秒です。皆さん明日は笑顔で県庁で会いましょう」とあいさつ。吉田淳町長、佐藤由弘教育長が選手らを激励しました。また、役場職員OBで、長年ふくしま駅伝に携わっていた秋本圭吾さんから「連続出場おめでとうございませう。遠方より応援しています」と応援のメッセージを受けました。

スタート地点の白河市から

ゴールの福島県庁まで各選手がベストを出しきった当日の町チームの結果は、6時間21分8秒で総合48位(町の部26位)となりました。町代表選手は全員が完走し、沿道やテレビで見てる方々に勇気と感動を与えてくれました。



第37回市町村対抗 福島県縦断駅伝競走大会
ふくしま駅伝 FINISH





1区
奥山 陽織
初めての1区で夜眠られなかったが笑顔で走りきれた。



2区
横山 幸哉
インフルエンザだったので当日まで走れるか不安だったがタスキをつなげられてよかった。



3区
柳田 明德
タスキを途切れさせてしまったのが悔しい。来年はつなげられるように練習を重ねたい。



4区
柳田 文徳
今までで1番良い走りができた。来年はさらに良い走りができるようにしたい。



5区
吉田 好孝
ゴール直前で大熊の旗が見えて最後の一押しになった。応援の力を改めて感じました。



6区
蛸井 光
完走できて、充実感・達成感を感じている。来年に向けてまた1年間練習を重ねたい。



7区
渡辺 結羽
個人的には悔しいタイムだった。来年は区間賞を狙いたい。



8区
尾内 優希
自己ベストを出せ、タスキもつなげた。個人的にはよい結果だった。



9区
大山 さくら
つなげるか不安もあったが、ちゃんとタスキを渡す事ができてよかった。



10区
森 暁彦
感動しながらタスキを受け取った。タイム的に不甲斐ない結果だったが来年に向けてまた頑張りたい。



11区
島田 風花
練習があまりできていなかったが、今日はここ最近で一番の走りだった。



12区
山口 和弘
来年は40歳でスタートの年と思っています。選手に選ばれるかわかりませんが、来年も頑張りたい。



13区
吉田 充芳
今年は選手として出られないと思っていたがタスキをつなぐ役割を得られてよかったです。



14区
渡辺 隆弘
調子上がらなかったが、最後まで頑張れた。駅伝という素晴らしい時間を来年も仲間を増やして頑張りたい。



15区
佐藤 優奈
中学ぶりの駅伝でタイムも悔しい結果だったが、選手として出たいと言ってもらえて頑張れた。駅伝が楽しいと思えた1日でした。



16区
柳田 学徳
昨年より練習したが後悔が残る走りとなりました。来年も単独チームとして出場するために皆さんの協力をいただきたい。



■監督 渡辺 誠一
■コーチ 渡辺 隆弘 吉田 充芳
■主将 柳田 学徳
■補欠 中里 光星 長島 秀樹



キウイに加えて梨を初販売 フルーツガーデン関本の直売所復活祭



直売所で記念撮影に納まる関本元樹さん(前列左から3人目)ら関係者

「フルーツガーデン関本」が11月2日、町内の自宅で直売所を1日限定で復活させ、避難先の千葉県香取市で栽培したキウイを販売しました。今年はキウイに加えて数量限定で梨も販売され、大好評でした。

県内外から多くの方が訪れ、キウイと梨を買い求めながら、久々の関本家との再会に話も多いに盛り上がりました。

5代目の関本元樹さんは、「地域に親しまれる恒例行事となるよう、今後もおいしい果物作りに励みたい」と意気込みを語りました。

大川原地区で防火啓発 認定こども園学び舎ゆめの森幼年消防クラブ防火パレード

認定こども園学び舎ゆめの森の園児たちが11月12日、住民に火の用心を呼びかける防火パレードを行いました。

園児たちはそろいの法被に身を包み、拍子木をカチカチと鳴らしながら町消防団・富岡消防署員らと大川原災害公営住宅地を行進しました。道沿いには小さな火消しの雄姿を見るために住民が集い、笑顔で防火啓発に努める園児らを見守りました。

パレードの終点となったlinkる大熊では、参加した園児全員がそろって「火の用心!」と大き

な声で呼びかけました。買い物客や立ち寄った地域住民は、その元気な声に足を止め、改めて防火への意識を高めていました。



防火を呼びかける園児たち

心を込めて地域の方をおもてなし 学び舎ゆめの森芋煮会



1



2

1 調理する子どもたち 2 出来たての料理を食べる参加者ら

義務教育学校学び舎ゆめの森と町社会福祉協議会は11月26日、同校で芋煮会を開催しました。今年は、子どもたちの「地域の皆さんや保護者の方に喜んでほしい」という思いから、開会式で熊町小学校と大野小学校の校歌を披露しました。

会場では子どもたちが作った豚汁と塩おにぎりが振る舞われ、参加者は室内や屋外のベンチで出来たての温かい料理を味わいながら交流を深めました。

町の魅力を歩いて探索 フットパスモニターイベント

町内下野上地区周辺を歩いて楽しむ「フットパス」事業のモニターイベントが11月29日に開かれました。県観光物産協会の主催。

フットパスとは、イギリスを発祥とする「森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くことができる小径」のことを指します。

コースの始点・終点となる、産業交流施設 CREVA おおくまでフットパスコースの紹介を含めたセレモニーが開かれ、開催地代表として吉岡健太郎副町長が「皆さまの知恵とアイデアで作られた『懐かしい大熊町』と『新たな大熊町』の両面を感じることができるコースです」とあいさつ。ゲストとして出席した、県出身タレントのなすびさんがフットパスの魅力の語りました。

セレモニー後、出席者らは、約4.8kmの道のりを1時間半ほどかけて散策し、昼食を取りながら周遊コースを振り返りました。

本事業によって作成されたフットパスコースのマップは役場のほか町内の施設で配布予定です。



1 始点・終点の CREVA おおくまを出発した参加者ら 2 旧役場前のイチョウ並木の紅葉を楽しんだ参加者ら

子どもたちの学びが集結 ふるさと創造学サミット

第12回双葉郡ふるさと創造学サミットが11月29日、県立ふたば未来学園で開催されました。

福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会の主催。子どもたちの主体性・協働性・創造性を伸ばすことを目的に平成26年度から開催されています。

義務教育学校学び舎ゆめの森は5・6年生、後期生に分かれて、それぞれ自分たちの好きなことを研究した内容を発表しました。

発表後は研究の成果を展示し、発表を聞いた他校の児童生徒らと交流を深めました。



1 研究内容を発表する学び舎ゆめの森の生徒 2 研究テーマの展示物を見る生徒ら

所属選手が全員集合 いわき FC シーズン終了表敬訪問

いわき市および大熊町、双葉郡をホームタウンとするプロサッカーチームいわき FC が 12 月 1 日、シーズン終了報告のため町役場を訪れました。いわき FC を代表して大倉智代表、田村雄三監督、選手代表で佐々木雅士選手があいさつ。吉岡健太郎副町長に J2 残留と来シーズンへの意気込みを述べました。吉岡副町長は「いわき FC 設立 10 周年おめでとうございます。いわき FC 新スタジアム構想も進んでおり、我々もホームタウンとして応援を続けてまいりますので、来シーズンもけがに気を付けて頑張ってください」とあいさつしました。



1 盛大に出迎えられる選手ら 2 集合写真に納まるいわき FC と町職員ら

結成 1 周年を前にお祝いイベント FUKUSHIMA WWW. 感謝祭

大熊町、双葉町、浪江町を拠点とし、大熊インキュベーションセンターに入居している女子サッカーチーム「FUKUSHIMA WWW. (福島ウィーアー)」の住民参加型イベント「WWW. 感謝祭」が 11 月 30 日、OIC スマイルフィールドで開かれました。

FUKUSHIMA WWW. は、令和 7 年 3 月のクラブ発足から 1 年足らずで、県女子サッカーリーグ 2025 では全戦全勝で上位リーグへの昇格を確実なものとしています。

今回のイベントでは、ふたば未来学園高女子サッカー部との公開試合が行われ、チームのサポーターやファンらの声援の中、FUKUSHIMA WWW. が 4 - 1 と勝利を収めました。試合後には地域住民とサッカーを題材にした運動会が開かれ約 70 人の参加者がプロ選手らと触れ合いました。



1 OIC スマイルフィールドで行われた公開試合 2 運動会を楽しんだ参加者ら(福島ウィーアー提供)

祝 おめでとうございます 今野盛雄さん東北交通栄誉賞受賞

野馬形地区の今野盛雄さんが12月9日、東北交通栄誉賞の受賞を吉田淳町長に報告しました。

今野さんは交通教育専門員など地域の交通安全に長年携わっており、この度、東北管区警察局長と東北安全協会長の連名による表彰を受けました。

吉田町長に受賞を報告した今野さんは「なかなかいただけないような賞を受けられて大変光栄」と述べました。

東北交通栄誉賞は交通安全活動に尽力した功労者、管理者などが対象で、地域や職域の交通安全推進に大きな功績があった方に贈られます。



吉田町長に受賞を報告した今野さん(右)

9年ぶりに屋形船で交流会 関東交流会 2025

関東圏に避難している町民を対象とした「関東交流会」が、12月7日に東京都内で開催されました。

本交流会は毎年実施しているもので、屋形船での交流会開催は平成28年以来です。約100人の参加者が2時間半の船旅と交流を楽しみました。

開会にあたり、吉岡健太郎副町長が「お互いに思い出話や近況報告など楽しいひとときをお過ごしください」とあいさつ。

続いて、企画調整課の幾橋功課長が町の復興状況について報告しました。

食事の時間には、まちづくり公社に所属する町復興支援員らが日頃の取り組みを紹介しました。

それぞれの担当支援員から業務について説明があり、自身が担当に至った経緯や、町内へ移住してからの暮らしなどが語られました。

会の終盤には、全員参加のビンゴゲームが行われ、町のマスコットキャラクター「まあちゃん」のぬいぐるみやマグカップなどの景品が当選者に贈られました。

参加者らは「久しぶりに町の仲間と会えてうれしい」「数年ぶりの屋形船の交流会を楽しみにしていた」など交流と情報共有の機会として、多くの参加者に喜ばれる会となりました。



1 船着き場で集合写真に納まる参加者ら



2 乾杯の合図にグラスを合わせる参加者ら 3 再会に喜び握手する参加者

3年に一度の改選で委嘱状交付 民生委員・児童委員

全国民生委員・児童委員の改選に伴い、12月1日に町民生委員・児童委員の委嘱状交付式が町役場で行われました。

式では4人の新任を含め25人に吉田淳町長が委嘱状を交付しました。

式後には民生児童委員協議会の定例会が開かれ、会長に根本友子委員、副会長に松崎政教委員と夏目陽子委員、監事に近尚子委員と宮本玲子委員が選任されました。

任期は同日から2028年11月末までの3年間です。



委員を代表し委嘱状の交付を受ける近さん(中央)



近 尚子さん
(監事)



今野 盛雄さん



宗像 愛子さん



中島 悦子さん
(新任)



渡邊 東史子さん
(新任)



尾内 ハツ子さん



山本 三起子さん



阿部 智英子さん



大内 しのぶさん



鈴木 喜久子さん



石川 正子さん



奥山 和枝さん



木田 景子さん



佐久間 文子さん



佐久間 レイ子さん



佐藤 知子さん
(新任)



菅家 愛子さん



根本 友子さん
(会長)



松崎 政教さん
(副会長)



松本 一彦さん
(新任)



益子 真由美さん



宮本 玲子さん
(監事)



山崎 由美子さん



志賀 まゆみさん
(主任児童委員)



夏目 陽子さん
(副会長・主任児童委員)



常磐自動車道の早期全線 4 車線化及び休憩施設の設置要望

町は 11 月 27 日に、国土交通省と財務省およびネクスコ東日本に対し、常磐自動車道の 4 車線化と大熊 IC の休憩施設整備に向けた要望活動を行いました。吉田淳町長と仲野剛議長から要望した概要は次のとおりです。

要望内容

・常磐自動車道の早期 4 車線化の整備

双葉地方の復興促進や住民帰還に加え、今後の災害への備えや東北太平洋沿岸の高速交通網の形成にとって重要であるため、暫定 2 車線区間を 4 車線化するための準備と早期整備に取り組むこと

・常磐自動車道の大熊 IC への休憩施設の整備

大熊 IC 周辺で計画される道の駅と一体的に機能する休憩施設を整備することで、高速道路利用者の安全・利便性向上だけでなく、住民帰還や生活利便性、産業創出にも寄与するため、休憩施設を早期の整備に取り組むこと



永井国交大臣政務官(中央)に要望書を手渡した吉田町長と仲野議長



高橋財務大臣政務官(中央)に要望書を手渡した吉田町長と仲野議長

双葉地方の復興・再生に向けた要望

双葉地方町村会は政府関係省庁と自民党東日本大震災復興加速化本部に対し双葉地方の復興・再生に向けた要望活動を実施しました。

双葉地方町村会長を務める吉田淳町長らが 12 月 3 日、牧野たかお復興大臣、辻清人環境副大臣、小森卓郎経産大臣政務官、自民党・谷公一本部長に要望書を手交し、双葉郡の復興に関する意見交換を行いました。

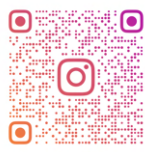
要望内容の概要は次のとおりです。



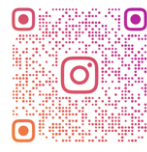
自民党東日本大震災復興加速化本部で要望書を手渡した吉田町長(左から 8 人目)

要望内容

- ①避難地域の復興の実現 ②避難地域の復興に必要な財源の確保
- ③ ALPS 処理水の取扱い及び社会的な影響への対応 ④帰還困難区域への対応
- ⑤原子力発電所事故の収束と住民への迅速かつ正確な情報提供
- ⑥福島国際研究教育機構(F-REI)の整備と研究タウンまちづくりの推進
- ⑦中間貯蔵施設の安全管理及び最終処分場等の確保
- ⑧復興に向けた人員の確保 ⑨福島イノベーション・コースト構想の着実な実現
- ⑩双葉地方の地域医療提供体制等の再構築 ⑪復興祈念公園の早期供用
- ⑫物価高騰に対する支援 ⑬避難者等に対するきめ細やかな支援



OKUMA_IJUTEIJU
移住に関する
情報



OKUMA_MACHIZUKURI_KOSHA
まちづくり公社
に関する情報

復興支援員のぞいてみよう！ ライフ

vol.4



コミュニティ再構築や町内住民の見守り・ケア、地域活性化支援などを通して、東日本大震災からの復興を手伝ってくれている復興支援員。そんな支援員の日々の業務をちょっとのぞいてみませんか？今回は佐藤元泰さん、誉田あみさんをご紹介します。



佐藤 元泰

【受け入れ企業】

株式会社ネクサス
ファームおおくま

【担当】

イチゴ栽培による営
農活動の再開支援

【活動内容】

私は 2023 年から大熊町に移住し、復興支援員として(株)ネクサスファームおおくまで日々イチゴの栽培を行い、お祭りなどのイベントの際には大熊町の特産品として大熊町産のイチゴを PR しています。

また、おおくま宣伝チームの一員とし



ほ場でイチゴをつむ佐藤さん

て、移住者や町民の目線で町の情報を月に一度 Web 発信しています。そちらもご覧いただくと幸いです。

今後もしよろしくお願ひいたします。



誉田 あみ

【受け入れ企業】

株式会社ネクサス
ファームおおくま

【担当】

特産品・地産品開発
および情報発信

【活動内容】

大熊町内外に広く親しまれる町の特産品をつくるため、イチゴ加工品の開発と販促をおこなっています。2025 年の夏には新商品「紅ほっぺのレアバウムクーヘン」の販売を開始しました。今後の商品展開にもご期待ください！



イベントで接客する誉田さん

冬イチゴの収穫時期には弊社敷地内でいちごの販売をおこなっています。皆さまが心ときめく直売所を目指していますので、ぜひネクサスファームおおくまへお越しください！



OIC | OKUMA
INCUBATION
CENTER

大熊インキュベーションセンター



全文はこちらから

OIC OKUMA
INCUBATION
CENTER
大熊インキュベーションセンター

入居者紹介 OIC ってどんなところ？利用者インタビュー

2022年7月に開所した大熊インキュベーションセンター(OIC)には、現在120社以上の企業が入居しています。大企業から起業準備中の大学生までが入居し、業界・業種もさまざま。毎日にぎわっているOICの魅力をお伝えするため、OIC広報担当が公式HP「OIC入居者紹介」の中から「どのような企業が利用しているのか」「どのような人と会えるのか」などをご紹介します。

アナドロマス

今回は、入居企業インタビュー第57社目として、アナドロマスをご紹介します。代表理事の清田直博さんと、事業パートナーの神保匠吾さんにお話を伺いました。

アナドロマスは、都市と山間地域の交流を促進することを目的に、東京都檜原村で会員制交流拠点「Village Hinohara(ヴィレッジ ヒノハラ)」を運営しています。会員同士が檜原村の自然や文化に親しみながら、新しい仕事を生み出していくことを目指し、イベントの開催や人と人のつながりをつくる機会の創出に力を入れています。現在の会員数は、企業やフリーランスを含め約420人にのぼります。

また、アナドロマスでは、大容量のバッテリーを搭載したトレーラー型の移動式EVスタンド「モバイルSS」の運用も行っています。これは電気やネットワークを提供できる移動型の拠点で、設置するだけで「電気のおアシス」が生まれることが最大の特徴です。災害時のバックアップ電源としても活用が期待されており、日常と非常時の両方で役立つ存在を目指しています。

今後は、大熊町仕様のモバイルSSの開発・製作を目標に掲げており、既存の車両にソーラーパネルとバッテリーシステムを後付けできる「キット化」事業にも取り組んでいます。これにより、大熊町役場の公用車や移動図書館車両などが大容量バッテリーを搭載した移動電源へと改造することも可能になると考えています。

アナドロマスはこのように、地域間交流による仕事の創出と、自立型エネルギーモデルの提案という、異なる側面から地域社会に貢献しています。

清田さんは「これまで学園祭などのイベントでしか関わっていませんが、大熊町は「電気・エネルギーの象徴的な場所」だと感じています。初めて大熊町を訪れた際、自立型の電源を持つことの大切さを強く実感しました。福島県内での事業パートナーも募集しているので、ご興味のある方はぜひご連絡ください！」と語ってくれました。

見た目もスタイリッシュなモバイルSS。興味をお持ちの方は、ぜひ検索してみてください！



センスウェイ

次にご紹介するのは、無線通信技術の強みを生かして、全国で事業を展開するセンスウェイです。代表の神保雄三さんにお話を伺いました。



同社は総務大臣の登録を受けた登録電気通信事業者で、少ない電力で広い範囲を結び無線通信方式を活用して、さまざまなセンサーのデータを集めることを得意としています。

その無線通信を生かした主力商品が、腕時計型バイタルトラッカーを活用した作業員安全管理支援ソリューション「ワーカーコネクト」です。心拍数や皮膚の表面温度などのデータから、熱中症の兆しや転倒、現在の位置などを把握して、作業員の安全管理のために活用されています。大手企業を含む多くの作業現場で導入されている実績ある商品です。

現在、どのような形で大熊町に貢献できるかを探っているところだといいます。町内企業への協力や、関連企業との取り組みを発信するプレスリリースなどを通じ、少しずつ関わりを広げています。東北の親戚が被災した経験から、「震災復興の力になりたい」という思いを抱き続けてきた神保さんにとって、大熊町との縁はその思いを形にする機会になっているそうです。

息抜きには地元・新宿の馴染みの焼き鳥店へ。昔ながらの知り合いが多く、相談や交流ができる大切な場所だと話します。おすすめの書籍は新渡戸稲造の『武士道』。現代の日本人の道徳観や倫理観の根底を見つめ直すことができ、日本の文化を理解する上でも役に立つと語っていました。

今後も無線通信技術の強みを生かしながら、地域のためにできることを探り続けたいと話す神保さん。大熊町との連携の広がりが期待されます。

OICはどなたでも無料で利用できます。居合わせた人と話したり、本や新聞を読んだりすることができる交流スペースから、静かな場所で作業に集中したいときに利用できるコワーキングスペースまで、さまざまな部屋があります。ぜひお気軽にご来館ください！

大熊町からの

お知らせ



内容 時日時 会場 対象 費用 持ち物 定員 申し込み方法 期申し込み 期限 問い合わせ先
☎ 電話番号 FAX ファクス ✉ メールアドレス
WEB ウェブサイト

お知らせ



特定復興再生拠点区域の固定資産税の減額が終了します



固定資産税について、令和8年度から地方税法の50%の減額がなくなり、条例による減免のみが適用となるため、50%の税負担となります。

また、中屋敷・大川原地区は、令和8年度から条例による減免が終了するための通常課税となります。納税通知書と課税明細書は、各所有者宛てに5月15日(金)以降に発送します。

なお、帰還困難区域は、引き続き課税免除となります。

■固定資産税の負担割合

●中屋敷・大川原地区

(平成31年4月解除)

R 5～7年度	R 8年度～
50%	100%

●特定復興再生拠点区域

(令和4年6月解除)

R 5～7年度	R 8～10年度	R 11年度～
0%	50%	100%

■□座振替のご案内

□座振替は、町税等を指定の預貯金□座から自動的に振り替えて納税・納付する制度です。希望される場合は、□座振替依頼書をお送りしますので住民税務課までご連絡ください。

問 住民税務課 賦課係

☎ 0240(23)7154

原子力機構成果報告会が開催されます



原子力機構は、福島廃炉安全工学研究所で福島第一原子力発電所の廃炉および、福島県内の環境回復に向けた研究開発の成果報告会を開催します。

時 2月6日(金)

午後1時30分～4時30分(予定)

場 CREVAおおくま

■開催方式

ハイブリッド開催(ご来場およびオンライン)※入場無料

申 QRコードから

問 日本原子力研究開発機構 福島廃炉安全工学研究所 運営管理部

総務課

☎ 0246(35)7650

ネクサスファームおおくま

イチゴ直売所営業

時間のお知らせ



ネクサスファームおおくまは、

イチゴの直接販売を行っています。

Instagramの公式アカウントで、直売所の最新情報を発信し

ていますので、ぜひフォローをお願いいたします！

時 12月23日(火)～5月下旬

・月～木・土曜日

午前9時～午後3時

・金曜日のみ

午前9時～午後6時

・日曜日定休

場 ネクサスファームおおくま 直

売所(大川原字西平2127)

※事務所入口とは異なりますのでご注意ください。

問 ネクサスファームおおくま

☎ 0240(23)7671

帰忘郷お披露目会

開催！



時 3月7日(土)午後4時(予定)

場 linkる大熊 多目的ホール

詳細はQRコードからご確認ください。

問 おおくままちづくり公社

☎ 0240(23)7101

令和7年度の医療費のお知らせ（医療費通知） の発送回数が2回 になります



町は、国民健康保険加入の世帯主宛てに「国民健康保険医療費のお知らせ」をお届けしています。

これは、被保険者の皆さまに国民健康保険で医療機関等に受診した医療費の額をお知らせすることで、健康に対する理解を深めていただくとともに、医療機関等からの請求内容に誤りがないかを確認していただくためにお届けしています。

令和6年度までは、医療費のお知らせを年6回に分けて送付していましたが、令和7年度から年2回に変更となります。

■発送スケジュール

診療月／発送時期

1月～10月／翌年2月

11月～12月／翌年4月

・受診された医療機関等からの請求に基づいて医療費通知を作成します。医療機関等からの請求が遅延している等の理由で、記載

されないことがあります。

・医療費通知に記載されていないものや、医療費通知が届く前に医療費控除の申告手続きをされる場合は、別途領収書に基づいて「医療費控除の明細書」を作成し、その明細書を申告書に添付していただく必要があります。

詳細は町ホームページをご確認ください。

問 健康保険課 国保年金係
☎ 0240 (23) 7143

要介護認定者の障害者控除について



身体障害者手帳や療育手帳等の交付を受けていない65歳以上の高齢者で、要介護1から要介護5に認定されている方のうち、次の要件に該当する方であれば、申請に基づき「障害者控除対象者認定証」を交付します。

認定書を交付された方、または認定書を交付された方を扶養している方は、この認定書を年末調整、確定申告、町県民税の申告の際に使用することで、所得税や町県民

税の障害者控除の対象となり、所得金額から一定額が控除されます。

注1 控除を受けたい方の所得税や町県民税がもとと非課税の場合、交付手続きは不要です。

注2 身体障害者手帳等を基に障害者控除の適用を受ける場合、認定書は必要ないため交付を控えさせていただきます。

■対象者

65歳以上で、要介護認定（要介護1～5）を受けている方

※基準日は令和7年12月31日時点（年の途中に死亡した場合はその日）

■認定区分

1～5に該当するかは介護認定審査会資料等で町が判断します。

●障害者控除対象

1. 身体障がい者（3～6級）に準ずる方
2. 知的障がい者（中度・軽度）に準ずる方

●特別障害者控除対象

3. 身体障がい者（1・2級）に準ずる方
4. 知的障がい者（重度）に準ずる方

5. 寝たきり高齢者または認知症高齢者の方

■控除額

	所得税	住民税
障害者控除	27万円	26万円
特別障害者控除	40万円	30万円
同居特別障害者	75万円	53万円

※同居特別障害者とは、特別障害者である同一生計配偶者または扶養親族で、納税者自身、配偶者、その納税者と生計を一にする親族のいずれかとの同居を常としている方です。

申窓口または郵送で申請手続きを行います。

郵送での手続きをご希望の方は、申請書をお送りしますので介護保険係までご連絡ください。

問 福祉課 介護保険係
☎ 0240 (23) 7226

※2月17日(火)、2月23日(月・祝)を除く土日祝、3月9日(月)～11日(水)は申告相談を受け付けていません。お間違えないようお気をつけください。

■申告が必要な方

- ・事業所得(営業・農業)、不動産、雑所得(公的年金以外)、一時所得などがある方
 - ※国、県、町から支給を受けた補助金の額が50万円を超える場合、一時所得となる可能性があります。
 - ・東京電力から「就労不能損害」、「営業(営業・農業・不動産)」の賠償を受けた方
 - ・給与所得者で、1年間の収入金額が2,000万円を超える方
 - ・給与所得者で、2か所以上から給与支払を受けている方
 - ・給与所得者で、年の途中で退職したり、就職先で年末調整を受けなかった方
 - ・年金所得者で、生命保険料控除や地震保険料控除など、各種控除の適用を受ける方
 - ・土地や建物などの資産を売却したことによる収入(譲渡所得)があった方
 - ・雑損控除、医療費控除、寄附金控除や住宅借入金等特別控除などの適用を受ける方
- 注** 青色申告、相続税、贈与税の申告をされる方は、最寄りの税務署で手続きをしてください。

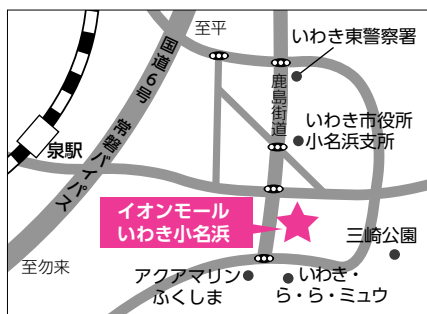
○申告の際に持参するもの

対 象	必要書類
全 員	①マイナンバーカードや運転免許証などの本人確認書類 ②所得税還付申告の場合、申告者名義の振込口座の分かるもの ③過去に所得税申告をしている場合、税務署から送付される確定申告のお知らせに記載されている利用者識別番号の分かるもの
所得	給与・年金 源泉徴収票、受取金額の分かるもの
	事業・不動産 収入・経費の分かるもの、帳簿など
	雑・一時 支払調書、支払通知書、収入・経費の分かるもの
	配当 支払調書、支払通知書、特定口座年間取引報告書など
	譲渡 取得価格と売却価格の分かる資料および契約書など ※収用(国や町による買い取り)の場合は、収用証明書等一式
控 除	社会保険料 国民年金保険料控除証明書、領収書、納付額通知書など
	生命保険料 控除証明書
	地震保険料 控除証明書
	住宅ローン 借入機関から発行される年末残高等証明書 ※初めての手続きの場合は、上記証明書と土地や建物の購入金額が分かるもの
	障害者 障害者手帳、介護保険から申請により交付された障害者控除対象者認定書
	医療費 支払金額の分かる領収書、セルフメディケーション税制を受ける場合には対象金額の分かるもの
	寄附金 寄附した団体などからの受領書または証明書など
	ふるさと納税

会場案内

【いわき会場①】

イオンモールいわき小名浜
(いわき市小名浜字辰巳町 79)



【いわき会場②】

いわきニュータウンセンタービル
(いわき市中央台飯野 4 丁目 2-4)



【会津若松会場】

スマートシティ AiCT (アイクト)
(会津若松市東栄町 1-77)



問 住民税務課 賦課係 ☎ 0240(23)7158

所得申告相談会を開催します



町は、令和7年分の所得申告相談会を次のとおり開催します。

○今年度は次の取り扱いとなりますので、ご確認ください。

1. 混雑緩和のため、午前と午後に分けて受付時間を設けています。受付状況によっては待ち時間も含め時間を要することが予想されますので、余裕をもってお越しください。
2. 休日は大変混み合います。平日の午後は比較的待ち時間なく対応できますので、お急ぎでない方はなるべく平日午後にご来場ください。
3. 行政区ごとに受付日程を割り当てていきますので、なるべくご自身があてはまる日にお越しください。
4. 本人確認のためマイナンバーカードまたは運転免許証などをご持参ください。

令和7年度 大熊町所得申告相談日程表

開催日		会場	受付行政区	時間	
2月	12日(木)	大熊町① 大熊町役場本庁舎 【多目的ホール】	中屋敷・野上1～2 大野1～2・大川原1～2	【午前の部】 午前9時～正午 (受け付け 午前8時30分～11時) 【午後の部】 午後1時～4時 (受け付け 午前11時～午後3時)	
	13日(金)		下野上1～3		
	16日(月)		熊1～3・野馬形		
	18日(水)	いわき市① いわきニュータウン センタービル 【会議室A・B】	熊川・野馬形・小入野 大和久・夫沢1～3	【午前の部】 午前9時～正午 (受け付け 午前8時30分～11時) 【午後の部】 午後1時～4時 (受け付け 午前11時～午後3時)	
	19日(木)		中屋敷・野上1～2 熊1～3・町		
	20日(金)		下野上1～3・大野1～2 大川原1～2		
	23日(月・祝)	いわき市② イオンモール いわき小名浜 【4階イオンホール】	全行政区 ※平日対応困難な方のみ	【午前の部】 午前10時15分～正午 (受け付け 午前10時～11時) 【午後の部】 午後1時～4時 (受け付け 午前11時～午後3時)	
	24日(火)		熊1～3・小入野		
	25日(水)		大野1～2・大川原1～2 夫沢1～3		
26日(木)	下野上1～3・町・野馬形				
27日(金)	中屋敷・野上1～2・熊川・大和久				
3月	2日(月)	会津若松市 スマートシティ A i C T 【交流棟ホール】	中屋敷・野上1～2・下野上1～3 熊川・野馬形・小入野・大和久	【午前の部】 午前9時～正午 (受け付け 午前8時30分～11時) 【午後の部】 午後1時～4時 (受け付け 午前11時～午後3時)	
	3日(火)		大野1～2・大川原1～2 熊1～3・町・夫沢1～3		
	4日(水)	郡山市 大熊町役場 中通り連絡事務所 【会議室1・2・3】	中屋敷・野上1～2 下野上1～3・町・野馬形		【午後の部】 午後1時～4時 (受け付け 午前11時～午後3時)
	5日(木)		大野1～2・熊1～3		
	6日(金)		大川原1～2・熊川・小入野 大和久・夫沢1～3		
	12日(木)	大熊町② 大熊町役場本庁舎 【多目的ホール】	小入野・大和久・町	【午前の部】 午前9時～正午 (受け付け 午前8時30分～11時) 【午後の部】 午後1時～4時 (受け付け 午前11時～午後3時)	
	13日(金)		熊川・夫沢1～3		
	16日(月)		全行政区		

令和6年4月1日から相続登記が義務化されました。不動産を相続したら、相続発生日から3年以内に登記申請をしてください。

登記の手続きを忘れずに

お願い



また、4月1日から住所等変更登記が義務化されます。不動産を所有している個人は、住所または氏名に変更があった日から2年以内に登記申請を忘れずに行ってください。（※法人の本店・商号等に変更が生じた場合も同じです。）詳しくは、お近くの法務局に問



相続登記



住所等
変更登記

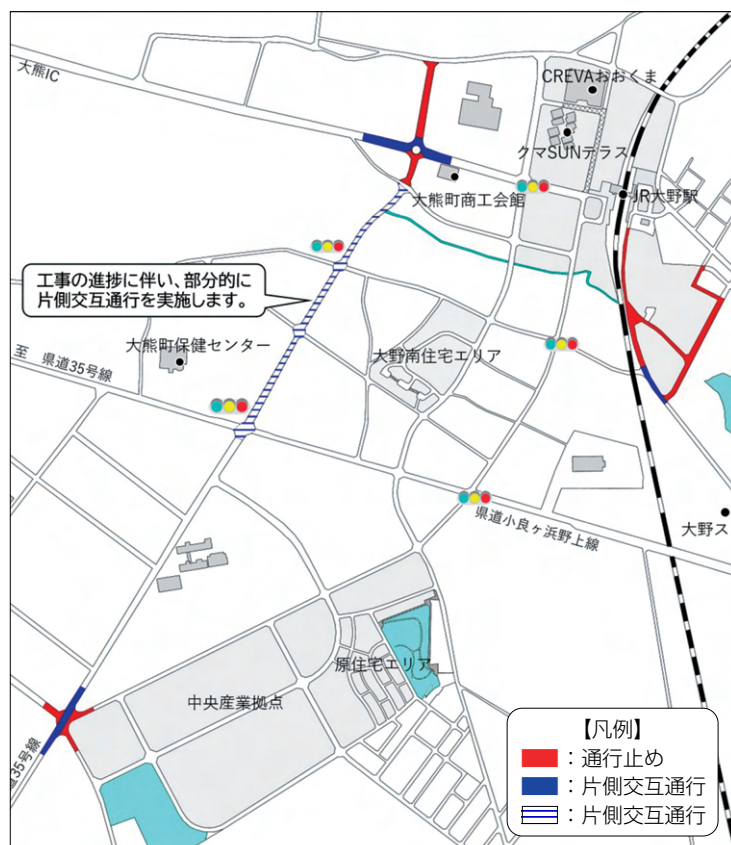
い合わせいただくか、法務局ホームページをご確認ください。
問 福島地方法務局
☎ 024(534)1111

基盤整備工事に伴う1月以降の通行止め箇所について



下野上地区一団地の復興再生拠点市街地形成施設事業の基盤整備工事および道路等工事のため通行止めを行っています。通行の際は、現地の案内看板等をご確認ください。

■ 1月以降の通行止め箇所図



問 UR 都市機構 東北震災復興支援本部
大熊復興支援事務所 ☎ 0246(38)8127
問 復興事業課 建設係 ☎ 0240(23)7019

文部科学省 原子力損害賠償紛争解決センター (ADR センター) からのお知らせ

原発事故の被害に 遭われた皆さん

ADRセンターでは
個々のご事情を踏まえて
賠償額等を検討します。



福島原子力発電所事故から長い年月が経過しており、関係資料が失われたり被害者の方々の記憶が薄れたりすることが懸念されます。気になることがあれば当センターの活用をお願いします。

確定申告会場での説明会開催は調整中です。確定次第、チラシ等でお知らせします。

問 原子力損害賠償紛争解決センター

☎ 0120-377-155 (年末年始を除く平日午前10時～午後5時)

給与支払報告書の提出について



給与と所得に係る所得税の源泉徴収をする義務がある事業者（給与支払者は、前年中に支払った（支払いの確定した）給与について、給与支払額の多少に関わらず、アルバイト・パート、役員等を含むすべての従業員の給与支払報告書（総括表・個人別明細書）を作成し、受給者（従業員）の1月1日現在（退職の場合は退職日現在の住所所在地の市区町村に提出することとされています）。

給与支払報告書（個人別明細書）は、所得税の源泉徴収票とは異なり、すべての従業員について提出する必要がある、町で令和8年度の個人住民税の課税を行うための重要な書類です。

対1月1日現在、住民登録が大熊町にある次の方

- ①1月1日現在の在職者で令和7年中に支払われた給与がある方（パート・アルバイト・法人役員等を含む）
- ②退職者で令和7年中に支払われ

た給与がある方

※対象者のうち、1月1日現在の在職者については、給与の支払額の多少や、年末調整をしているか否かに関わらず提出が必要です。

※青色事業専従者への給与（確定申告をしている場合を含む）に該当する場合や、源泉所得税がかからない場合であっても提出が必要となりますので、ご注意ください。
※住民票が大熊町の場合、住所は居住地（避難先）ではなく大熊町の住所を記載してください。

■提出書類

・令和8年度（7年分）給与支払報告書（総括表および普通徴収代替理由書 1部

・給与支払報告書（個人別明細書）従業員1名につき1枚

期1月30日（金）まで

■提出方法

①紙による提出

住民税務課まで郵送・または窓口へ提出してください。

②電子的方法による提出

eLTAX（国税電子申告・電子納税システム）または光ディスク等にて提出してください。

詳しくはeLTAXのホームページをご覧ください。

問住民税務課 賦課係

☎0240(23)7158

償却資産の申告について



毎年1月1日現在で償却資産を所有している事業所は、所有状況について申告する義務があります。忘れずに申告してください。

なお、昨年度申告済みの事業所には、すでに申告のご案内を郵送しましたので、ご確認ください。

■償却資産とは

会社や個人が事業を行うために用いることができる機械、器具、備品などのことです。発電出力が10kw以上の場合は、家庭用の太陽光発電設備も償却資産に該当し課税対象となります。

期1月30日（金）まで

■申告方法

住民税務課へ提出していただくか、「eLTAX（エルタックス）」を用いたインターネットでの申告も可能です。詳しくは、eLTAX

Xのホームページをご覧ください。

問住民税務課 賦課係

☎0240(23)7159

注意



**証明書のコンビニ
交付サービスを一
時停止します**



システムメンテナンスのため、次の日程で、マイナンバーカードを用いたコンビニエンスストアでの証明書の交付を一時停止します。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

■停止期間

1月23日（金）午後11時～26日（月）午前6時30分

■停止する証明書

・戸籍事項証明書（戸籍謄本・戸籍抄本）

・戸籍の附票の写し

問住民税務課 住民係

☎0240(23)7146

補助・助成



被災者生活再建支援金の申請を受け付けしています



■支給対象世帯（すでに満額支給を受けている世帯を除く）

平成23年3月11日時点に大熊町^{*1}に住んでいた方（貸家・アパート等の賃貸住宅含む）で、地震等で住宅が次の状態になった世帯

- ・住宅が全壊した世帯
- ・住宅が大規模半壊した世帯
- ・住宅が半壊し、やむを得ず^{*2}解体した世帯

※1 被災時に実際に居住していた世帯が対象となり、空き家、別荘、他人に貸している物件などは対象外です

※2 倒壊防止や住むために必要な修繕費用が著しく高額になるため解体した場合のこと

■期基礎支援金、加算支援金ともに4月10日（金）まで

■差額・追加金を申請できる場合があります

●基礎支援金の差額申請

大規模半壊で申請された方でも、やむを得ず家屋を解体した場合、半壊と同じ扱いとなりますので、すでに支給した額との差額分を申請することが可能な場合があります。

●加算支援金の差額申請

震災後賃貸住宅に入居し、加算支援金を受給した世帯で、申請期限内に住宅を建設または購入した場合、再度申請をすることで、すでに支給した額との差額分を申請することが可能です。

●加算支援金の追加申請

基礎支援金のみ申請された世帯で、申請期限内に新たに住宅を建設もしくは購入した、または賃貸住宅に居住した場合、再度申請を行い、加算支援金を申請することが可能です。

問 生活支援課 生活支援係

☎ 0240(23)7444



五差路交差点(下野上字原地内)が環状交差点(ラウンドアバウト)に変わります



環状交差点とは車両の通行する部分が環状(ドーナツ状)の信号機のない交差点で、道路標識により車両がその部分を『時計回りに通行』することが指定されている交差点のことです。五差路の環状交差点は2月下旬に完成予定です。

■環状交差点の交通ルール

交差点に入るとき「左折」

- ・徐行または一旦停止して左折
- ※右折できません
- ・歩行者に注意

交差点を出るとき「左折」

- ・左ウィンカーを出して左折
- ・歩行者に注意

問 復興事業課 建設係

☎ 0240(23)7019



募集・イベント



下野上地区(原・大野南・旭台)宅地分譲のご案内



町は、下野上地区(原・大野南・旭台)の宅地分譲の募集を次の日程で実施します。資料を希望される方は町ホームページからダウンロードまたは生活支援課にご連絡ください。

■現地申込・見学会開催日

- ・2月20日(金)
午前10時～午後4時
- ・2月21日(土)
午前10時～正午

場 宅地分譲現地案内所(原コミュニティ・スペース)

※現地申込・見学会は予約制ではありません。直接会場にお越しください。

■郵便申込期間

1月1日(木・祝)～2月10日(火)当日消印有効

あらかじめ町へ資料を請求し、ご確認の上お申し込みください。

問 生活支援課 移住定住支援係
☎ 0240(23)7456

環境省 福島地方環境事務所
からのお知らせ

中間貯蔵施設見学会を開催します



時 1月23日(金)、24日(土)

申 中間貯蔵事業情報センター

☎ 0240(25)8377

※令和7年12月26日(金)～1月4日(日)まで、輸送を休止します。

問 福島地方環境事務所 中間貯蔵

部 中間貯蔵総括課

☎ 024(563)1293

福島広域雇用促進支援協議会から

●行くしかない!!

働きたいネットのパート

のしごと相談会



【参加無料・履歴書不要・服装自由】

働ける時間の中で仕事を見つけ

ませんか? パート! 副業! 短時

間!

時 1月22日(木)

午後1時30分～午後3時

場 みんなの交流館 ならはCAN

vas(榎葉町北田字中満260)

■参加企業

相双地域等の企業7社

申 電話、ホームページから予約ま

たは当日参加。入場は予約の方を

優先します。予約がおすすめです。

詳細は「働きたいネット」で検索!

※雇用保険受給者の方へ

本説明会は「求職活動実績」にな

ります。参加証明書を発行します。

●就活ワークショップ

事業『求職者カフェ』

【利用無料・予約不要】



応募書類作成や面接対策、証明

写真の撮影、ビジネスマナーなど、

さまざまな就職支援をご用意して

います。お気軽にお越しください。

場 南相馬ジャスモール内(南相馬

市原町区大木戸金場77)

■利用時間

午前10時～午後6時(月～金)

※祝日を除く

☎ 0244(26)4307

問 福島広域雇用促進支援協議会

福島統括窓口

☎ 024(524)2121

大熊中校歌で体操 しましょう



おおくままちづくり公社の「チャレンジ応援プログラム」の採択事業として大熊中学校校歌のリズムに合わせた体操を考案しました。体操のお披露目を兼ねて、皆さんと一緒に動く機会を設けましたのでぜひご参加ください。

内 大熊中学校歌に合わせた体操教室

時 1月13日(火)午後5時～

場 CREVA おおくま

対 どなたでも

費 無料

定 なし

持 動きやすい服装、飲み物等

問 鍼灸師 堀本大樹

☎ 080(4142)4160

✉ karada.ht.10@gmail.com

里がえりもちつき大 会2026開催!



新年はみんなで餅をついて、双葉郡でいちばんもちつきに情熱を燃やすまち、おおくまのお正月をお祝いしましょう!

時 1月10日(土)

午前11時〜午後2時

場 大熊町役場前広場

内 もちつき、もちまき、おおくま競輪など

問 おおくまコミュニティづくり実行委員会事務局

☎ 090(2952)5939

令和7年度スキー・スノーボード教室を開催します



内 2月14日(土)

場 裏磐梯スキー場(北塩原村檜原)

大府平山 1170-5

対 大熊町民

大熊町役場から無料バスが出ます。現地集合も可能です。

詳しくは同封のチラシをご確認ください。

問 生涯学習課 スポーツ振興係
☎ 0240(23)7518

大熊町いわき会



内 新年会

時 1月31日(土)午前11時

場 いわき湯本温泉 吹の湯旅館

(いわき市常磐湯本町吹谷48)

■送迎バス乗車場所

植田駅前午前10時10分

泉公民館入口(午前10時30分)

費 3000円

申 必要

定 30人

問 宮本明

☎ 090(5188)8163

大熊町山田会



内 山田会新年会

時 1月25日(日)午前10時

場 渡辺宅

費 3000円

問 石田和枝

☎ 090(7326)7444

おおがわら会



内 団子さし&マジックショー

昔ながらの小正月に行われていた団子さし行事の体験と火の車太郎さんによるマジックショーで初

笑いをしましょう。

時 1月17日(土)午前10時

場 linkる大熊

費 高校生以上500円

小学生300円

未就学児無料

定 30人

問 山本千代子

☎ 090(7072)6611

※平日の午前9時〜午後5時

おおくま中通り会



内 新年会

時 1月23日(金)

中通り連絡事務所 午前10時30分発/なりた温泉 11時着

場 なりた温泉

(郡山市安積町成田字車川原27)

費 2000円

期 1月9日(金)

場 千葉県成田山

問 斎藤重征

☎ 090(8423)6515

問 鈴木久友

☎ 090(3368)8919

ふるさとおおくま会



内 おおくまカルタで楽しもう&餅食会

時 1月24日(土)午前10時

場 いわき市草野公民館

(いわき市平泉崎向原28)

費 2000円

申 必要

定 30人

期 1月20日(火)

問 石橋英雄

☎ 090(2270)8138

問 富田睦子

☎ 090(3531)9776

問 杉内俊子

☎ 090(3649)6051

野馬形区女性部



内 懇親会(1泊2日バス旅行)

時 3月3日(火)

場 千葉県成田山

対野馬形区の方(男性参加可)

費 15000円

申 必要

期 1月31日(土)まで

※詳細は決行が確定次第参加者の
方にご連絡します。

問 中野春美

☎ 080(5498)8019

健康



ノルディック
ウォーキング



時 1月21日(水)

午前10時から正午まで

場 保健センター

定 15人

申 事前にご連絡ください

問 福祉課 介護保険係

☎ 0240(23)7226

いきいき百彩クラブ



内 フラワーアレンジメント

時 1月14日(水)

午前10時～11時30分

場 大熊町保健センター

定 10人

申 1月9日(金)までに電話で

対 大熊町民の方

費 500円

問 健康保険課 保健衛生係

☎ 0240(23)7419

保健センター

開放日



赤ちゃんから高齢者の方まで幅
広い世代が集う場として、また、
お散歩途中の寄り道や休憩場所と
してもお気軽にお立ち寄りくださ
い。

お茶コーナーのほか、おもちゃ
や絵本、健康に関する情報を設置
しています。健康相談、介護や認
知症、栄養相談もできます。

※保健センター前で生活循環バス
も停車します。

時 1月28日(水)、2月25日(水)

午前9時～午後4時

場 大熊町保健センター

内 ◎移動図書／午前10時～正午

◎いちごカフェ／午後1時30分

～3時30分

問 健康保険課 保健衛生係

☎ 0240(23)7419

子育て



子育てひろば



① 内 自由遊び、身長体重測定、個
別相談

時 1月13日(火)

申 電話で3日前までに

② 内 ベビーマッサージ、身長体重
測定、個別相談

時 2月17日(火)

申 電話で1週間前までに

＜共通＞

時 午前9時30分～11時30分

場 いわき出張所

定 親子5組

対 未就学児と保護者(祖父母も可)

持 飲み物、おむつ、バスタオル

※体重測定希望の方・おむつ交換
の際は、ご自身でバスタオルをお
持ちください。

問 健康保険課 保健衛生係

☎ 0240(23)7419

不動産利活用、地域コミュニティをサポート！

特産品「帰忘郷」販売中！

おおくままちづくり公社の最新情報はこちら▶



まちづくり公社は、町からの委託を受けて不動産利活用支援事業を実施しています。
所有する不動産を売りたい・貸したい方、登録されている不動産の利用を希望の方は、
当公社にご相談ください。

問 おおくままちづくり公社 ☎ 0240(23)7101 (平日午前9時～午後5時)

双葉消防本部からのお知らせ

「林野火災 注意報」「林野火災 警報」の運用を開始します！

令和7年2月に発生した岩手県大船渡市の大規模林野火災を受けて、1月1日から林野火災の予防を目的に、火災予防条例の一部が改正されました。

この林野火災が起きた時、2月としては過去60年間で最も降水量が少なく、「乾燥注意報」が発表され、出火日の最大風速は8.3m/sで「強風注意報」も発表されていました。



ふたばちゃん

「林野火災注意報」とは？

林野火災の予防上、注意を要する気象状況になった際、発令された町村に「火の使用の制限」について、従うよう努めることとなります。

【発令基準】

12月から5月の期間で、次の①または②のいずれかに該当する場合。

- ①前 **3日間**の合計降水量が **1mm**以下 かつ 前 **30日間**の合計降水量が **30mm**以下
- ②前 **3日間**の合計降水量が **1mm**以下 かつ **乾燥注意報**が発表

※当日に降水が見込まれる場合や積雪がある場合は、発令しないこともあります。

「林野火災警報」とは？

林野火災の予防上、危険な気象状況になった際、発令された町村は「火の使用の制限」について、従うこととなります。

【発令基準】

12月から5月の期間で、**林野火災注意報の発令基準に加え、強風注意報**が発表された場合。

「火の使用の制限」とは？

- ①山林、原野等において火入れをしないこと。
- ②煙火(花火等)を消費しないこと。
- ③屋外で火遊びまたはたき火をしないこと。
- ④屋外で、引火性または爆発性の物品その他の可燃物の附近で喫煙をしないこと。
- ⑤山林、原野等の場所で、喫煙をしないこと。
- ⑥残火(たばこの吸殻を含む。)、取灰または火粉を始末すること。



「火の使用の制限」に従わなかった場合は？

「**林野火災注意報**」は、罰則が伴わない努力義務となります。

「**林野火災警報**」は、火の使用の制限に違反した者に対し、30万円以下の罰金または拘留に処することが消防法で定められています。(消防法第22条第4項・消防法第44条第18号)

林野火災注意報・警報に関する問い合わせ 双葉消防本部 消防課予防係 ☎ 0240(25)8523



柏崎 佑哉
(公認心理師)



松永 妃都美
(保健師)



折田 真紀子
(保健師)

教えて おおちゃん 放射性物質



.....
何かと疑問の多い放射性物質について、長崎大学の専門家の皆さんが解説します。

新年あけましておめでとうございます。私たち長崎大学は、大熊町での復興支援活動の一環として毎月「放射線と健康」をテーマとした連載を掲載しています。

2025 年は大熊町に住所登録のある町内居住人口が 1,000 人を超えました。大野駅周辺の開発が進み、大川原から国道 6 号線をつなぐ町道東 67 号線が開通するなどのインフラが整備されることに伴って、人のにぎわいもまた実感できる一年だったと思います。

さて、町の復興推進の一環として大熊町は「特定帰還居住区域」が設定され、2029 年末までに避難指示が解除される予定です。長崎大学では住民の皆さまにご協力いただき、この区域内に該当する宅地内の放射線量の測定を行っています。今回は、現時点までに実施した 2 時点分(2024 年 11 月および 2025 年 5 月)の測定結果をご報告します。なお、特定帰還居住区域を図のように、それぞれ除染・解体作業の進捗状況が異なる地域を 3 つに分け、区域全体に加えて地域別の放射線量について調べました。

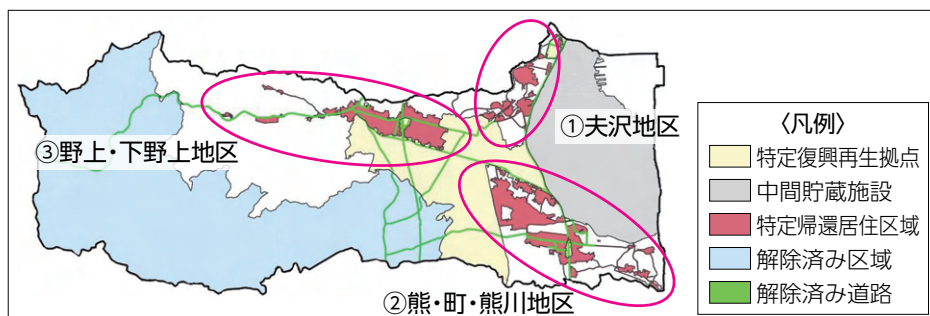


図 大熊町の特定帰還居住区域 (引用元：復興庁、特定帰還居住区域復興再生計画)



測定の様子

表 特定帰還居住区域内宅地の空間線量率(地上高 1m で測定)

	区域全体		①夫沢		②熊・町・熊川		③野上・下野上	
	T1	T2	T1	T2	T1	T2	T1	T2
測定件数	106 件	92 件	25 件	19 件	71 件	63 件	10 件	10 件
中央値	1.55	1.30	6.54	5.52	1.46	1.23	0.84	0.78
25 パーセンタイル	1.25	1.02	5.02	3.93	1.25	1.02	0.51	0.35
75 パーセンタイル	2.83	2.33	8.64	7.52	1.75	1.49	1.18	1.10
線量の低減率	16.1%		15.6%		15.7%		7.1%	

単位：マイクロシーベルト/時, T1=2024年11月, T2=2025年5月

区域全体では、1 回目の測定時点では 106 件、2 回目は 92 件の測定を実施しました。熊・町・熊川地区は住宅地が多く、測定件数が多くなりました。空間線量率は福島第一原発に最も近い夫沢地区が他の地域と比べて高い値を示しており、住民の方の帰還を実現するためには、さらなる線量の低減化対策が必要です。また、約半年後の 2 回目の測定時には、全体として 16% 程度の線量が低減化されていました。これは自然減衰とは考えにくいとため、除染・解体作業の影響と考えられます。現在は特に下野上や熊といった地区の除染作業が進められている印象です。引き続き調査を実施することで、線量の変化を評価していきたいと考えています。

長崎大学では、放射線被ばくと健康についてのご相談をいつでもお待ちしております。大熊町役場健康保険課 (☎ 0240-23-7419) を通じてお気軽にお問い合わせください。

教えて すこやかライフ

通いの場のご紹介

大熊町の「通いの場」は
こちらから▶

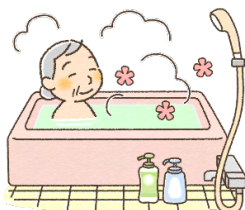


～「大切にしたいこと」
「して欲しくないこと」を
伝えておこう～



高齢者が冬に注意したい健康ポイント

冬は高齢者にとって、まるで冷たい風がそっと忍び寄るように、体にも心にも負担がかかりやすい季節。だからこそ、しっかりとした健康管理が大切です！



1. ヒートショック対策

急激な温度差で血圧が大きく変動し、心筋梗塞や脳卒中のリスクが高まります。脱衣所やトイレにも暖房を入れて、部屋ごとの温度差を減らすのがコツ！



2. かくれ脱水に注意

冬は喉の渇きを感じにくく、気づかないうちに水分不足になることも。起床時、入浴前後、就寝前など、こまめな水分補給を忘れずに！



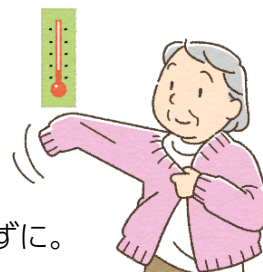
3. 感染症予防

インフルエンザやノロウイルスなど、冬はウイルスが元気になる季節。手洗い・うがい・マスク、そして加湿でバリアを張ろう！



4. 低体温症の予防

高齢者は体温調節が苦手になりがち。暖かい服装と室温管理が大事！栄養バランスの取れた食事と軽い運動も忘れずに。



5. 心のケアも大切

日照時間が短くなると気分が沈みがち。家族や地域とのつながりが心の支えになるよ。



大熊町の「食改さん」をご紹介します

大熊町食生活改善推進員(通称・食改さん)は「自分たちの健康は自分たちの手で」をスローガンに、食を通した健康づくりに取り組むボランティアの皆さんです。

10月に保健センターで行われた総合健診会場では、塩分控えめでもおいしく食べられるよう工夫を凝らしたお味噌汁を訪れた町民の方々に振る舞いました。



具材にさつまいもやきのこを加えて
うまみを出し、減塩みそを使って塩
分をひかえました！

1日の塩分摂取量

	大熊町の平均	日本人1日の目標量
男性	9.8 g	7.5 g
女性	9.0 g	6.5 g

(令和6年度大熊町総合健診結果を基に作成)



WHO(世界保健機関)
が推奨する塩分摂取量
は1日当たり **5g未満**
といわれています。



減塩の他にも、骨粗しょう
症を予防する「生涯骨太
クッキング」やフレイル予
防、お子さんの食育などを
テーマとした研修会や料理
教室を開催しています。



大熊町食生活改善推進協議会では、新規会員を募集しています。

お料理の好きな方、健康づくりに興味のある方、一緒に「食改さん」として活動してみませんか？
入会についてはお気軽に健康保険課までお問い合わせください。

母子健康手帳交付希望の皆さまへ ご妊娠おめでとうございます

大熊町子ども家庭センター**おおくまっこ**
は、妊娠期から子育て期まで切れ目のない
支援のため母子健康手帳の交付時に、保健
師等の専門職が妊婦さんの体調や心配事
のお話をうかがいます。

母子健康手帳交付希望の方は日程調整を
しますので本庁舎・各出張所にご連絡くだ
さい。

母子手帳の交付を受けた福島県外の妊婦さんへ

今後町から送付するものがありますの
で、健康保険課 保健衛生係までご連絡
ください。

また、福島県内への里帰り出産をされる
方についてもご連絡ください。



子育て支援アプリ
「すくすく♡おおくまっこ
by 母子モ」



おおくま Photo News 号外!

皆さんの応募まっています!



移住定住支援センター主催のフォトコンテストを開催します。全6部門で皆さんの作品を募集しています。各部門の優秀作品や全作品の中から選ばれた「最優秀賞」を受賞の方には豪華賞品が贈られます! 詳しくは QR コードから!



問生活支援課 移住・定住支援係 ☎ 0240(23)7456

各種問い合わせ先

(記載のない市外局番は0240です)

ゼロカーボン

町ゼロカーボン補助金制度事務局
☎0120-978-820

医療・福祉

町診療所
☎23-7170
ふたば医療センター附属病院
☎23-5090
町社会福祉協議会
☎23-5171

教育

認定こども園 学び舎ゆめの森
☎23-4462
義務教育学校 学び舎ゆめの森
☎23-5341

商工・観光・交流

町観光協会
☎23-7101
町インキュベーションセンター
☎23-7721
町商工会
☎23-7380
交流施設 linkる大熊
☎23-7676
宿泊温浴施設ほっと大熊
☎23-5767
CREVAおおくま
☎41-9959
クマSUNテラス
☎41-9948

移住定住・帰還支援

町移住定住支援センター
☎23-7103
おおくままちづくり公社
☎23-7101

郵便

大熊郵便局
☎32-2222

警察・消防

双葉警察署
☎22-2121 (緊急通報 110)
富岡消防署
☎22-2119 (緊急通報 119)
災害情報専用テレホンサービス
☎26-0366

電気

東北電力コールセンター
☎0120-066-774

ガス

福島県 LP ガス協会 相双支部
☎0244-22-1141

上水道

双葉地方水道企業団
☎25-5323
(下水道は町役場復興事業課)

電話

NTT 東日本相談申し込みダイヤル
☎116

ごみ

双葉地方広域市町村圏組合
南部衛生センター
☎25-4609

除染・中間貯蔵施設

除染と中間貯蔵施設に関する問い合わせ窓口
☎0120-027-582
一時立ち入りコールセンター
☎0120-220-788



こんにちは赤ちゃん

こどもの名	親の名	住 所
牛 来 乃 愛	牛 来 佑 文 渡 部 聖 樹	旭 台



おくやみ申し上げます

死亡者名	年齢	住 所
谷 本 秀 雄	63 歳	南 平
小野田 好	87 歳	新 町
鈴 木 美 幸	76 歳	旭 台
長谷川 信 一	78 歳	南 平
佐 藤 忠 吾	88 歳	南 平

令和7年 11 月届出

ーお詫びー

広報おくま 12 月 1 日号の 6 ページ町の話において氏名の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。大変申し訳ございませんでした。

正：榎内代表

誤：榎本代表

広報はホームページでもご覧いただけます。

広報おくまは町ホームページでも公開しています。パソコンやスマートフォンからも町の情報をご覧いただけますのでぜひご活用ください。

大熊町 HP

Facebook

Instagram

LINE



問大熊町役場 総務課 秘書広聴係

新年あけましておめでと
うございます。
令和8年は丙午にあたり、
60年に一度巡ってくる、新
たな挑戦や飛躍に適した力
強い年といわれています。
新しい趣味を始めたり、
これまでになく体験に挑戦
したりと、実り多く、楽し
い一年になることを願って
います。

(梅田)

人のうごき

令和7年 1 1 月末現在



住民基本台帳

人 口 9,816 人

世帯数 4,168 世帯

町内居住者数

人 口 1,520 人

(うち帰還者 333 人)

居住地ごとの状況は町ホームペー
ジをご覧ください。



町内の空間線量

(令和7年 12 月 15 日午前 9 時現在)

町内で空間線量を測定しているモニタリングポスト
の数値をお知らせします。

表は避難指示が解除された区域に設置している機器
を抜粋して掲載しています。

町全体のデータは、町環境測定サイネージ、町ホー
ムページからご確認ください。

測定地点名		空間放射線量 (μ Sv/h)
中屋敷集会施設		0.10
大熊町役場		0.08
福島給食センター		0.14 ※ ¹
やすらぎ霊園		0.07
野上二区地区集会所		0.51 ※ ²
インキュベーションセンター (旧大野小学校)		0.13
大熊町保健センター		0.28
大野駅		0.13
大熊町文化センター		0.29
旭台公園		0.28
学び舎ゆめの森		0.12
大和久区地区集会所		0.35 ※ ²
町区集落センター		0.45
参 考	いわき市役所	0.06
	郡山市役所	0.07
	会津若松市役所 (追手町第二庁舎)	0.04

※機器調整中等のため直近の計測データを記載して
います

※1 令和7年 11 月 22 日午後 10 時 20 分時点

※2 令和7年 6 月 10 日午後 3 時時点



おおくまカレンダー

今月の紙面情報をまとめました。
丸数字（①など）は、
詳しい内容を掲載したページ番号です。

町内のゴミ回収日



可燃・紙



不燃・カン



ビン



ペット・プラ



▲分別方法は
コチラから

南部衛生センターごみ受入日 午前8:30～11:30

日	月	火	水	木	金	土
【実施団体】 ♪主なイベント ○その他 ■各コミュニティ団体 ♣保健センター・介護事業 ●出張所・連絡事務所 ●おおくまコミュニティづくり実行委員会 (★マークがついているイベントなどは 予約が必要です)				1 元日	2	3
4	5	6	7	8	9	10
	可燃・紙			可燃・紙	可燃・紙	可燃・紙
11	12 成人の日	13	14	15	16	17
	可燃・紙	○大熊中校歌に 合わせた体操 教室② ♣子育てひろば ②★	いいきいき百彩 クラブ②★ ビン	可燃・紙	可燃・紙	可燃・紙
18	19	20	21	22	23	24
	可燃・紙		ノルディック ウォーキング ②★	可燃・紙	可燃・紙	可燃・紙
25	26	27	28	29	30	31
■大熊町山田会 ②	可燃・紙		保健センター 開放日② 不燃・カン	可燃・紙	可燃・紙	可燃・紙

各施設等の
イベント情報は
こちらから
ご覧ください！

駅西交流エリア



大川原交流ゾーン



OIC



まちづくり公社



社会福祉協議会

